

6月議会 一般質問

山岡、岡田、小西各議員 市民の願い実現迫る

6月定例議会は17日から20日まで4日間一般質問が行われ、20人の議員が質問に立ちました。山岡議員は、幼児教育・保育の無償化、市民交流駅の課題、観光ボランティア、小児救急医療再編計画、放射線副読本の5項目。岡田議員は、介護人材確保対策、甲賀北工業団地整備事業、田舎体験、選挙の投票率向上の4項目。小西議員は、大戸川ダム、無料乗車券の信楽高原鉄道への拡充、信楽地域でのコミバス・コミタク運行、307号勅旨信号の渋滞解消、市職員の人員配置と市民サービスの向上の5項目。それぞれ問題点を指摘するとともに、市民の願いの実現を迫りました。市議会HPの録画中継をご覧ください。

山岡光広議員

「幼児・教育の無償化」は、3歳から5歳児は全員が無償ですが、0歳から2歳児は住民税非課税世帯に限られています。山岡議員の質問に「3歳～5歳は2165人、0歳～2歳で住民税非課税は60人」と回答。そのうち「現行制度で無償となっている児童は406人。無償化の対象外となるのは635人」との回答でした。山岡議員が甲賀市の独自施策で無償となっている部分については「無償化を継続すべき」と求めたことに、市長は「継続するよう検討をすすめる」と答弁しました。給食費については原則実費徴収となるとの答弁でしたが、山岡議員の質問に「今後の検討課題である」と市長は答弁しました。

都市農村交流事業「忍者の里」のうち「田舎体験」は都会の生徒が田舎の生活を体験できる貴重な事業ですが、生徒の受け入れ家庭が減る状況から、今後の対策や送迎の安全対策などを問いました。周知啓発やクチコミ紹介を進め受け入れ家庭の拡大に努めること、生徒の送迎が困難な場合は市がサポートするとの回答でした。また、市立有料施設の見学時の割引適用を求めたところ、減免とするとの回答がありました。

岡田重美議員

三日月知事の方針転換により問題となっている大戸川ダムについて、ダムありきの市長の姿勢をあらため、ダムに頼らない河川整備を進めるよう求めましたが、市長はダムありきで従来と変わらない答弁でした。

小西喜代次議員

日本共産党甲賀市議員団

議会報告会

とき：7月5日(金) 19時～21時

ところ：土山開発センター

6月定例議会報告を開かせていただきます。議会での取り組みを報告させていただくとともに、皆さまからの要求やご意見等をお聞きし交流します。今回は土山会場です。どなたでも参加できます。お誘い合わせてぜひお越しください。



予算決算常任委員会

21日から26日まで、4常任委員会が開かれ、付託された議案の審査が行われました。24日に開かれた総務常任委員会では、特別職の給与等に関する条例一部改正、市税条例一部改正などを審査。市税条例一部改正については、消費税10%増税を前提にした改正であることから、小西議員が反対討論を行いました。25日の予算決算常任委員会では、専決処分となった平成30年度一般会計補正予算、令和元年度一般会計補正予算が審査されました。7月1日の本会議最終日に、各委員長報告の後、討論・採決が行われます。

各常任委員会で議案チェック

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2019年 6月 30日 第269号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696